



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985~'86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット

仲よく 話ろう ローターリー

第 353 回 例会 60 年 7 月 11 日 第 359 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
56 名	47 名	85.45%	100 %

欠席者 (8 名) 病欠 (1 名)

藤沢 原田 橋本 加藤 三浦 竹本 辻
渡辺

本日のプログラム 7 月 18 日
永野清治氏 (車体工業 ㈱ 相談役 大和 RC)
「ロータリアンとは何か」

次 週 予 定 7 月 25 日
第 1 回家族会 (7 月 28 日) に振替

司会 SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 北砂富三君「奉仕の理想」

《ゲスト》

吉田隆幸氏 (福祉開発研究所 々長)

《ビジター》

加藤一郎君 (厚木) 沢田清次君 (座間)

大矢晴行君 山本壮兵衛君 星 幸男君

河野重康君 馬場保也君 金未守君

野口栄三郎君 (大和)

宮島国重君 大城正道君 (大和田園)

《会長報告》

・過日 近藤幹事とともども大和、大和田園、座間の各クラブにご挨拶に行ってお参りました。それぞれ大変素晴らしいクラブでございますが、我々

の大和中クラブも捨てたものではないという印象をもって帰って参りました。

・先日の第 1 回クラブ協議会に多数の皆さまにお集りいただきまして、楽しい中にも有意義な一時をすごすことが出来ました事を御礼申し上げます。その席上、スマイルについて若干の討議が行なわれました。申すまでもございませんが、楽しい事、良い事があった場合、或は人にお世話になった時、それぞれその時々喜びを分かち合っていたくという事が基本です。お誕生日、結婚記念日等々も、今迄同様にユニークなど発表がございましたら、どうぞニコニコ用紙をご利用の上発表していただきたいと思っております。その場合には申告だけで結構です。とは申しましても省りみましてどうも一部マンネリ化し画一し

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央 1-5-40
大和 市 商 工 会 館 内
☎0462-63-7926
例会場：大和 市 大 和 南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店 4 階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分 より
会 長：上 田 利 久
会長イクト：藤 田 重 成
副 会 長：富 沢 重 徳
幹 事：近 藤 富 士 男
会報委員：松 崎・種ヶ島・木 村

た申告がなくもございません。会員数が増えて参りますと何か対応を考えなければいけないということで年2回に分けて徴収するということを今年度は行なわさせていただくわけです。どんな場合にもメリット、デメリットがあります。メリットの面は集金の事務の簡素化、例会時間の確保、上半期の運動資金の確保、会報の紙面の有効的な利用等があります。一方デメリットとしましては、スマイルを簡素化しますと無味乾燥になりまして面白くない、スマイルが減りはしないかという事がございますが、このプラスマイナスのバランスをどう保っていくかは会員各位のご理解によるところでございますので宜しく御了解いただきたいと思っております。

○大和クラブの大矢会長 山本幹事がお見えですので一言お願い致します。

大和RC 大矢会長：只今ご紹介いただきました大矢と山本幹事でございます。本日はご挨拶に伺いましたが、私は上手な話が出来ませんので、大和中クラブでなく、仲良しクラブということで一年間おつき合いさせていただきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

《幹事報告》

- お手許に前年度の各区分のIGF報告書が届いていると思います。当区分IGFの折にファイルが配られておりますので、とじ込みをして下さい。
- ロータリーの友英語版の購読依頼がきておりますのでご希望の方はお申込み下さい。
- 本日例会終了後、定例理事役員会を開催致しますので宜しくお願い致します。
- 例会臨時変更の件ですが、次々回の7月25日(木)は7月28日(日)の家族会に振替えとなりますのでご注意下さい。
- 上半期会費(7～12月分)の納入を今月中にお願い致します。

○次回18日に地区大会のキャンペーンにホストクラブの横浜南クラブからお見えになるそうです。**地区大会は9月28日・29日**に行なわれますので今からご予約をお願い致します。

○地区のクラブ奉仕、広報、ロータリー情報の委員長会議が7月13日(土)に行なわれます。出席はすではお願いしてありますが各委員長さん宜しくお願いします。

又7月20日(土)には地区の拡大増強セミナーがございますので増強委員長さんご出席をお願いします。

《委員会報告》

社会奉仕委員会 委員長 古木勝治君

先般のクラブ協議会でいろいろお願い致しましたが、皆さんの事務所の中で古切手がありましたら、今年度集めたいと思いますので宜しくお願いします。これは松風園等へ持って参りますと非常に素晴らしい子供達の勉強や収入になるそうです。お帰りになりましたらまわりをよく見廻わしていただき次週お持ちいただければ幸いです。

ゴルフ同好会 委員長 松本三郎君

先達悪天候のため順延になっておりました前年度最終の四クラブ合同コンペが**8月9日(火)厚木国際東コース**で行なわれます。多数のご参加をお願い致します。又**8月27日(火)**ボーイスカウトチャリティーゴルフに私共のクラブが乗り合ひましてクラブコンペを開催致したいと思っております。

親睦活動委員会 委員長 上村幹雄君

第1回家族会のご案内がお手許に届いていると思いますが、必要事項御記入の上、私共の方までお返し下さい。

7月28日(日) 午前8時30分 大和市役所前集合
中川温泉郷・信玄館(0465-73-3811)へ

お祝	おめでとうございます！	
5年皆出席	後藤定毅君	(7月12日)
お誕生日	長谷川清一君	(7月16日)
御夫人お誕生日	猪熊唯夫君初美夫人	(7月17日)
	古田土勝美君百合子夫人	(7月12日)
結婚記念日	亀谷志郎君	(7月12日)
	児玉清君	(7月12日)
入会記念日	上村幹雄君	(57年7月15日)

シリーズ I 「高齢化社会の認識」



紹介：昭和41年慶応大学経済学部卒業後、直ぐに日大理工学部建築学科に入学、45年卒業後、寿建築研究所に入社。48年に福祉開発研究所を設立53

年より代表取締役所長として活躍中。福祉開発研究所は社会福祉の分野での開発計画や建築計画に際し調査、企画からパイロットプランの作成、基本計画、実施設計にいたるソフトからハードまでのプロセスに一貫したシステムで取り組むという他の研究機関にない特徴をもった企業です。又、他に厚生省、東京都他自治体の福祉政策に関する委員、財社会福祉研究所監事をはじめ全国高齢化社会研究協会理事他多数の役職を兼任。欧米にも老人コミュニティの調査に数回行かれ、著者も「有料老人ホーム設置運営のガイドライン」他(富沢)

若輩者ですが10数年福祉関係をやっているということで本日スピーチさせて頂きますが何せ30分という僅かの時間ですので、話としましてはポイントだけを話すということになると思います。がご了承いただきたいと思ひます。

I 高齢化社会の現状

高齢化社会というのは65才以上の人口が約7%を超える状態ですが、日本は昭和45年位からはじまっており、現在は9.7%で10人に1人が65才以上ということになります。21世紀の2000年になりますと7人に1人最高のピークが35年後の昭和95年には18.8%の5人に1人が65才以上のお年寄りになります。日本の場合は非常にピッチが早くヨーロッパ関係が100年位かゝっていますのに日本は45年で一気にきてしまうという事ですから、国なり個人なりが相当認識してかゝらないと大変な事になると思ひます。高齢者の生きがいをどういう風に考えたらよいかということですが、①健康の問題②経済の問題③家族との問題④社会との問題、こういうものが皆バランスすることだと思ひ

ます。

①健康の問題ですが、これは高齢者にとって一番関心の高い項目になります。先ず老化がおきますが、これは大変個人差が大きいという事がお解りかと思ひます。日頃からの健康管理と精神面での生きがいを持った充実した生活によると思ひます。自分自身で健康づくりに努力していかなければならないと思ひます。寝たきりとかボケにならない為にどうしたらよいかということ普段から考えておかないと自分達も家族達も大変になると思ひます。

②経済の問題ですが家族依存度が減り、頼れるのは年金という事になりますが、年金は将来は厳しくなります。現在は国際的にみても日本はまあまあ水準は高い方ですが、これからは若いうちに民間の年金保険に入り老後に備えることになります。又生きがいのために働くという事は良いのですが仕事が見つからないのが現状ですから老後どうやって働らくような事を考えていけるかという準備をしていかなければならないし、子供達にも教えておくという事になると思ひます。

③家族との問題：先進国としては同居率の高い日本ですが、これが核家族化で低下していく中で条件つき別居志向が増えていくと思ひます。スーブの冷めない所でお互に独立した生活を保ちながら助け合っていくという家族との対応が増えていくと思ひます。

④社会の問題ですがお年寄りは余暇時間が増えていますが現在は自宅で過ごす人が殆どです。今迄仕事、仕事できたもので長い老後をどういう風に過ごしてよいか解らず迷っている人が多いと思ひます。なるべくいろいろな機会に老後の生き方を勉強する会をつくっていくとともに、若い人にも準備をさせる必要があると思ひます。

II 福祉政策

国の福祉政策の方向としてはお年寄りを①今迄の弱者という事ではなくいろいろな知識をもった造詣の深いお年寄りのもっているものを活かせるような社会にしていくにはどうしたらよいかというような事を考えています又②お年寄りが生まれ育った所で安心して住めるような在宅を基本的

に考えてその為の福祉サービスをどうしたらよいかということを考えています。③長い老後の生活の生きがいづくりをどうするか。④在宅のための中間的施設をつくっていく⑤有料福祉といったような方向で国の政策も対応していくように進んでいます。福祉の責任は誰にあるのか、国にあるのか個人にあるのか、というようなことが言われますが国でやってもらうものは、やってもらわなければなりません、その見通しはといえますと、現在行革が進んでおりますが、日本は21世紀にむけては、やはり働らく国民であり、努力する国民ということにならないと国は栄えないであろうということが基本です。働らくより失業保険をもらった方が良いというような社会になってしまったら、国の活力はなくなってくるということになります。国が発展していく為には高齢化社会へ向けての国の努力なり各人の努力がなくてはならないと思います。特に寝たきりということが福祉では大きな問題になりますので、そういう場合には、なるべく出来ることは自分でやり、核家族の中で家族なり、地域が助け合うということを具体的にやっていく地域福祉を育て、いかにないと、国に頼っているだけでは出来ませんので、如何に育て、いくかということが重要になると思います。

子供への教育として学校あたりで福祉の教育のプログラムを設けることも重要でしょうし、お年寄りの手助けをすることを日頃からやっていくということが重要になってきますし、そういう盛り上げをつくる。お年寄りも日頃から機会があれば子供とのふれあいの場をつくりお互に交流していくことが大切だと思います。今後高齢化社会の中でいかにお互に活力ある生活が出来るかということを考えていかなければならないと思います。

大変とりとめない話でしたが、この話のきっかけが何かのお役に立てば幸いだと思います。
会長：大変内容の濃いものを短時間にありがとうございました。先進国病がついそまできているという危機感を具体的なお話の中に感じとりました。ぬくもりのある青年を育てるためには母親を主役としたぬくもりのある環境づくりが必要にな

ってきます。これにつきまして後日シリーズによって勉強していきたいと思えます。

《スマイルボックス》 委員長 古川 巖君

加藤一郎君（厚木） 久し振りにお世話になります。

大矢晴行会長 山本壮兵衛幹事（大和）

本年度、宜しくお願いします。

星 幸男君（大和） 先日は第1回クラブ協議会に出席させていただき有難うございました。

野口栄三郎君（大和） 本日はお世話になります。

河野重康君（大和） 本日も宜しくお願いします。

金 未守君（大和） 本日はお世話になります。

馬場保也君（大和） 本日もお世話になります。

沢田清次君（座間） 本年度も宜しくお願い致します。

宮島国重君（大和田園） 本日もお世話になります。

大城正道君（大和田園） お世話になります。

上田利久君 ハゲも三人揃うと明かるくなる。

楽しく、そしてためになるクラブ協議会を持つことが出来ましたので

亀谷志郎君 家内が「毎日書道展」に連続6回目の入選をしましたので

近藤富士男君 ゲストスピーカーの吉田先生の来訪を歓迎して

伊藤英夫君 先日は楽しい一夜をありがとうございました。

伊藤宣夫君 かねてより建築中のテナントビルが完成し、テナントも全て決まりました。完成を記念してスマイルします。

後藤定毅君 5年皆出席祝を有難うございます。これからも頑張りますが、すでに我がクラブは、ゴルフも親睦も上村時代一色です。

細野順造君 ホームクラブを長いこと欠席しましたので

松本三郎君 山中さんお蔭様で従業員が楽しい旅行が出来ました。有難うございました。

木村誠二君 遅れてきましたのでニコニコスマイルします。